

|       |  |      |     |
|-------|--|------|-----|
| 区分・種別 | 県指定史跡  |      |     |
| 名称    | いまばりじょうあと<br>今治城跡  |      |     |
| 所在地   | 今治市通町3丁目   |      |     |
| 所有者   | 今治市ほか  | 管理団体 | 今治市 |
| 指定年月日 | 昭和28年10月9日   |      |     |
| 解説    | <p>今治城は、<sup>そうじゃがわ</sup>蒼社川の三角州左岸、標高13mの地に築造された平城で、別名を<sup>ふきあげじょう</sup>吹揚城とよび、藤堂高虎によって築城された。築城奉行を渡辺勤兵衛、普請奉行を<sup>きやまろくのじょう</sup>木山六之丞とし、慶長7（1602）年から同13（1608）年までの歳月を要した。かつての<sup>じょういき</sup>城域は一辺約600mの方形で、中央部に本丸・二の丸・三の丸を構え、櫓数は23、周囲に幅約50mの内堀、さらに中堀、外堀をめぐらせ海水を引き入れていた。<sup>いしがき</sup>石垣は自然石をそのまま積む、いわゆる<sup>のづら</sup>野面積みの手法で<sup>こうばい</sup>勾配は直線的である。石垣下部の水際には幅4～5mの犬走りが設けられている。現存するのは内堀と本丸・二の丸・三の丸の石垣のみである。藤堂氏が転封後松山藩主松平定行の弟の定房が入府、以後明治維新まで10代続いた。</p> <p>なお、現在の天守は昭和55（1980）年に市制60周年を記念して建造されたものである。また、平成19（2007）年に写真や発掘調査成果に基いて<sup>くろがねごもん</sup>鉄御門が復元されている。</p> |      |     |

